

INFORMATION

■ 入試関連情報

いよいよ本格的な入試シーズンが到来します。10月10日（月・祝）、12月18日（日）には本学において入試直前講習会や相談会を開催し、これから受験を控えているみなさんの実技・構想表現・小論文対策をバックアップします。

各種入試は右記のとおりを実施します。なお、詳細については入試課までお問合せください。

TEL.075-864-7878（直）

FAX.075-881-7133

nyushi@kyoto-saga.ac.jp

◎2006年度入学試験

京都嵯峨芸術大学大学院

推薦	11/27（日）	本学
一般	2/18（土）	本学

京都嵯峨芸術大学

推薦	11/1（火）	本学・岡山
特別	12/4（日）	本学
センター試験利用	1/21（土）・21（日）	
一般（前期）	1/26（木）	本学・東京・岡山
一般（後期）	2/27（月）	本学

京都嵯峨芸術大学短期大学部

推薦	10/31（月）	本学・岡山
自己表現	12/4（日）	本学
特別	12/4（日）	本学
一般（前期）	1/25（水）	本学・東京・岡山
一般（後期）	2/26（日）	本学

京都嵯峨芸術大学短期大学部専攻科

前期	10/16（日）	本学
後期	2/18（土）	本学

※AO入試は実施済み

■ 月例法要のお知らせ

毎月1回有響館G401教室において、月例法要を営んでいます。20分程度の儀式で、自由参加となっていますが、建学の精神に触れる機会でもあります。教職員はもちろん学生の皆さんもご参加ください。

<今後の日程>

10月21日（金）14：00～

11月15日（火）15：00～

12月15日（木）14：00～

■ 2005年度後期特別講座スケジュール

・10月25日（火）

「造形と音楽」講師：堀清和氏

・10月25日（火）

「西アフリカの伝統文化」講師：増山紀代氏（染織造形作家）

○お問合わせは教務課まで

TEL.075-864-7867（直） FAX.075-881-7133 kyomu@kyoto-saga.ac.jp

■ 附属博物館／ギャラリー（アートスペース嵯峨）スケジュール

<博物館>

・観光芸術展「観光が育てた芸術作品」 11月2日（水）～12月22日（木）

<ギャラリー>

・観光芸術展「観光が育てた芸術作品」 11月2日（水）～12月22日（木）

・めくるめくファンタジー 平成18年1月10日（火）～1月15日（日）

・第3回活き粋倶楽部展 平成18年1月17日（火）～1月22日（火）

・卒業進級制作展 平成18年2月6日（月）～2月13日（月）

※観光芸術展「観光が育てた芸術作品」は国立民俗学博物館共催

○お問合わせは博物館／ギャラリー課まで

TEL.075-864-7852（直） FAX.075-881-7133 museum@kyoto-saga.ac.jp

■ 学友会よりお知らせ

「嵐芸祭」を開催します
嵯峨芸の恒例行事となりました「嵐芸祭」が、11月3日（木・祝）・4日（金）の2日間、本学にて行われます。今年のテーマは「革命」（急激に変化、発展する意）。学生作品展示企画「嵐展」、アマチュア漫オライブ、模擬店、フリーマーケットに加え、各種ライブ企画を用意し、多くの方のご来校を心よりお待ちしております。

○お問合わせは学生課まで

TEL.075-864-7872（直）

FAX.075-881-7133

gakusei@kyoto-saga.ac.jp

■ 大学よりお知らせ

ラジオカフェで放送開始！

京都嵯峨芸術大学がお送りする「SAGA ART STATION」（京都三条ラジオカフェ）が、9月よりON AIRを開始しました。放送時間は毎月第3水曜日 19:30～20:00。毎回本学関係者が中心となって、在校生に関する情報や卒業生の活躍等、嵯峨芸に関する様々な情報を盛りだくさんでお送りします。

第1回目の放送は9月24日（土）。造形学科（メディアアート分野）の松本泰章助教授と在学生2名によるトークでした。詳しい内容は「京都三条ラジオカフェ」サイトにアクセスしてお聴きください。

<京都三条ラジオカフェURL>

http://www.radiocafe.jp/

京都嵯峨芸術大学広報

第14号

2005年10月17日発行

編集●京都嵯峨芸術大学 企画広報室
発行●学校法人大覚寺学園 京都嵯峨芸術大学

〒616-8362 京都市右京区嵯峨五島町1番地

TEL.075-864-7859

FAX.075-882-7770

http://www.kyoto-saga.ac.jp

info@kyoto-saga.ac.jp

印刷●大光印刷株式会社

京都嵯峨芸術大学 広報

KYOTO SAGA

UNIVERSITY OF ARTS

PUBLIC RELATIONS

Contribution

観光デザイン学科5年目を迎えて

京都嵯峨芸術大学 観光デザイン学科教授 金氏脩介



Topics

教員の活躍

愛宕古道街道灯し

卒業生の活躍

毎日新聞に掲載／青垣日本画展で卒業生が受賞

大学の活動

夏祭りを開催／前期特別講座／児童書コーナー「あらし山びこ」を立ち上げ半年／「あらし山びこ」ロゴ決定！／小学生夏休み講座

大学よりご報告

新潟県中越沖地震への義援金について

附属博物館

前期企画展



News

理事会・評議員会役員交代

教育後援会総会開催報告

大学地域連携モデル創造支援事業の採択について

オープンキャンパス報告

2005年度就職支援状況

ボルネオ島エコツアー 実施

受託研究報告



Information

入試関連情報

学友会よりお知らせ

「嵐芸祭」を開催します

大学よりお知らせ

ラジオカフェで放送開始！

月例法要のお知らせ

同窓会よりお知らせ

ほか



KYOTO SAGA
UNIVERSITY OF ARTS

観光デザイン学科5年目を迎えて 金氏脩介 ●京都嵯峨芸術大学 観光デザイン学科教授



観光デザイン学科が誕生して5年目を迎えました。今年2月、初めての卒業制作を発表し、1期生の溢れる意欲と、作品のテーマや表現手法の多様性に観光デザイン学科の可能性と特色を感じ取って頂けたと思います。今年度は3名の大学院1期生も入学し、全国に類のない新しいデザイン学科としての様々な試行錯誤、方向性の模索を、学生、教員共々今なお意欲的に継続しています。

現在の教員組織は、演習・実習専任教員8名、実習非常勤講師9名です。その内、卒業研究・制作ゼミを担当する専任教員は7名、その専門領域はイベント、アーバンツーリズム、エコツーリズム、ヘリテージツーリズム、ビジュアルデザイン、プロダクトデザイン、環境デザインの7領域です。現在実施している実習カリキュラムは概ねつぎ

テーションを行います。これは7、8人のチームを編成し、それぞれの個性をぶつけながらのグループワークであり、共同作業でのデザインを学ぶ機会となっています。

3回生からは、それまでに学んだ観光学とデザインの基礎を基に学生それぞれの志向を活かし、より専門的に学ぶため先に挙げた7つの領域を選択して実習・演習に取り組めます。同時に、選択した領域に係わらず、全員がデザインの研究と制作の基盤となる「構想演習」とやや高度なコンピュータの扱いについて実習します。4回生は最終学年として、あらためて7領域のゼミに所属し、卒業研究・制作に取り組めます。

観光デザイン学科の特色は、このカリキュラムに加えて学内組織である「観光デザイン研究センター」の活動をはじめ、様々な

の通りです。

1、2回生は2年間を通じて観光学の全貌を概観する講議を受けつつ、並行してデザイン基礎実習として、情報伝達やコミュニケーションに係わるビジュアルデザイン、道具やモノに係わるプロダクトデザイン、空間計画や建築に係わる環境デザインの3領域のデザインに関する基礎的な技術と、各領域のデザインの基本的な考え方や方法論の修得を目指します。併せて、これらのデザイン表現力を高める目的でコンピュータや、写真、製図などのデザインツールを使いこなすための実習があります。2回生のまとめとして進級制作「嵯峨野プロジェクト」に取り組めます。嵯峨野地域をフィールドとして問題発見からデザイン課題設定・制作に進み、最後に発表会形式でプレゼン

学外のプロジェクトに学生が積極的に参加していることが挙げられます。この4年間の学生の活動状況を見ると、その内容は、様々な領域のデザイン制作をはじめ、国内外での調査や研究論文発表など幅の広さがよく現れています。これらの活動は学年の枠を超えた有志参加ですが、正規の授業では得られない体験を通して様々なことを学ぶ貴重な機会になっています。

この5年間の入学志願者の状況を見ると、年々近畿圏だけではなく全国に広がってきているようです。入学者の出身県数は、去年は21県。入学試験倍率は5年間で平均2.7倍です。観光デザイン学科で実際に学ぶ内容については、卒業制作の発表や在学生の実習作品、演習の具体的な紹介などを通して徐々に理解は深まっています。しか

し、本学では芸術学部の唯一のデザイン学科であるため、必ずしも入学当初から観光領域のデザインに焦点を当てている学生ばかりとはいえません。観光デザイン学科の目指すところは押さえつつ、現実の学生の志向や可能性も受け止められる体制を作り出しているところです。

第1期生の就職状況は、進学などを除き、希望した学生の約9割が就職することができました。厳しい社会状況にあってよく健闘したと思います。今後も、就職率だけを問題にするのではなく、卒業生たちが置か

れた状況やそれぞれの場において、人間として成長を続けられるように願い、そのための基礎力を在学中に充分身につけられるよう教員一同気持ちを新たにしています。

この秋、専任教員が分担し、これまでの観光デザイン教育のまとめやこれからの指針を示すべく、「観光デザインの創造（仮称）」という本の制作に取り組んでいます。これを一つの契機として、また、様々な実践や、何よりも日々の学生たちとの教育を通じた係わりの中から特色あるデザイン教育を創造し続けたいと思っています。

◎観光デザイン学科学生の主な受賞と課外活動

＜平成14年＞ ・第14回京都広告賞（京都広告業協会主催）ポスター部門金賞
・100万円でつくる自由空間コンペ（堺市文化振興財団主催）佳作賞
・美郷村石積みライトアップ誘導灯コンテスト 優秀賞2点
・第9回観光に関する学術研究論文（アジア太平洋観光交流センター主催）奨励賞

・大沢の池景観修復プロジェクト（草魚バスターズ）（H14～継続中）
・美郷村石垣ライトアップおよび蛍祭りプロジェクト（H14～継続中）
・琵琶湖ヨシデザインプロジェクト（H14～継続中）
・東山花灯路灯（H14より毎年出展）

＜平成15年＞ ・竹のデザイン展（萩市、京都市、フィンランド）
・大津市世界水フォーラムヨシ灯りのオブジェ制作
・ボルネオエコツーリズム体験ブック『アラムラグ』編集出版
・美山町宝マップ制作

＜平成16年＞ ・第2回ふろしきデザインコンペ（ふろしき友の会主催）佳作4点
・座ってみたい北の創作椅子展2004（中札内美術村主催）入選
・“怪”大賞（角川書店・世界妖怪協会公認季刊誌「怪」主催）荒俣宏奨励賞
・勝手に年賀状大賞2005（アイングラフィックス株式会社主催）銀賞

・関西建築系大学・合同ワークショップ広島、奈良 参加（H16～継続中）
・南方熊楠記念館設計コンペ出展
・「人権ぬりえ」制作 京都府人権啓発推進室
・京都フラワーセンター「花空間けいはんな」ビジュアルデザイン
・丹後あじわいの郷地域連携システムの構築に係る委託業務
・堺市民フェスティバル「仁徳古代村」企画・制作・運営
・第1回国際ワインツーリズム会議（オーストラリア）研究発表ポスターセッション部門 参加

＜平成17年＞ ・第4回環太平洋大学院生観光研究フォーラム（ハワイ）研究発表ポスターセッション部門グランプリ
・第37回毎日DAS学生デザイン賞（毎日新聞社ほか主催）入選
・京都町家設計コンペ 一次審査通過
・オルゴールアート作品大賞2005（オルゴールミュージアム六甲主催）入選

・芸術系大学作品展2005出展
・デザイナーズウィーク2005椅子作品出展3名
・中国雲南省旧市街地現地調査に参加・日本建築学会大会での論文発表
・中国雲南省・茶馬古道の建築様式現地調査に参加
・「Secret Poem」展 展覧会ポスター作成
・太秦文化圏構想太秦一帯の観光集客計画（京都商工会議所）
・大映どおり商店街活性化事業（空き店舗デザイン、マップ制作等）
・丹後地域半島地域自立発展促進事業（観光資源の発掘及び観光ツアー企画）
・古川町商店街業態変革事業
・「嵐電ご意見番」モニター
・グループ展 昭和な日「高架下で待つ女 電車のリズムに合わせて」
・第4回環太平洋大学院生観光研究フォーラム（ハワイ）参加
・観光芸術の成立過程と先住民の著作権に関する研究現地調査参加
・一条通商店街「百鬼夜行資料館」記念行事「百鬼夜行仮装行列」総合プロデュース及び制作、参加

NEWS

理事会報告

理事会・評議員会役員交代

去る5月30日（月）に開催されました理事会・評議員会におきまして、任期満了に伴う役員改選が行われ、新しい理事会・評議員会が次の通り決定しました。（敬称略）

＜理事長・評議員＞

坂口 博翁

寄附行為第6条第3項の規定により現職のまま

＜理事・評議員＞

三好 郁朗

寄附行為第6条第3項の規定により現職のまま

平松 隆全

〃

村上 宥真

〃

黒髪 寛延

〃

荒木 義典

〃

箱崎 睦昌（重任）

平成17年6月1日より2年

黒川 彰夫（重任）

〃

午居 隆平（重任）

〃

井上 與一郎（重任）

〃

寺田 武彦（重任）

〃

細川 元雄（重任）

〃

道端 進（重任）

〃

大竹 仁子（重任）

〃

＜監事＞

堀 信一郎（重任）

平成17年6月1日より2年

西野 種悦（重任）

〃

＜評議員＞

森本 武（退任）

任期満了による

岡田 脩（退任）

〃

桑田 政美（新任）

平成17年6月1日より2年

高木 清謙（新任）

〃

有岡 保行（重任）

〃

持山 賢次（重任）

〃

橋口 俊之（重任）

〃

高家 昌昭（重任）

〃

高岡 義寛（重任）

〃

小國 英夫（重任）

〃

上井 寛之（重任）

〃

北村 正己（重任）

〃

辻井 ミカ（重任）

〃

古丸 健太郎（重任）

〃

長谷川 喜昭（重任）

〃

林 潤一（重任）

〃

増田 洋（重任）

〃

OCTOBER 2005

4

大学報告

教育後援会総会開催報告

平成17年度教育後援会総会が7月10日(日)、本学萩原キャンパス「有響館」にて開催されました。堀教育後援会長、三好学長の挨拶の後、堀会長を議長に議事が進み、12名の新役員選出を含めて全ての議案について承認されました。この総会にて、堀会長より会長職を交代したいとの議案が出され、全会一致で高家副会長の会長選任が承認されました。議事後、第二部としてコース教員との懇談、担当職員による成績・就職の相談会を行いました。

9月18日(日)には、岡山で地方懇談会を開催、中国地方をはじめとして、四国・九州からも広くご参加頂き、教職員との懇談、成績・就職の個別相談会をしました。

今後も教育後援会と大学が協力し、個別に懇談できる機会を設けていきたいと考えています。

大学報告

大学地域連携モデル創造支援事業の採択について

本事業は京都市の「大学のまち・わくわく京都推進計画」に基づく事業として、大学と地域の連携により地域の活性化を目的とする事業に対して支援を行うものです。

今年度本学は2件の事業が認定され、助成金の交付を受けました

・「太秦ヌーヴェル・ヴァーグ・プロジェクト」
（芸術学部造形学科メディアアート研究室）

・「愛宕古道街道灯し」
（短期大学部美術学科インテリアデザイン研究室）

NEWS

大学報告

オープンキャンパス報告

第2回夏のオープンキャンパスが7月31日（日）から8月2日（火）の3日間、第3回秋のオープンキャンパスが9月23日（金・祝）に開催されました。それぞれ制作体験や模擬授業、実技・構想表現・小論文講習、キャンパスツアー、作品展示、各実習室ではオリジナルトートバックの制作やフィギュアペイント等、様々なイベントが行われました。

第2回オープンキャンパスでは3日間で高校生513名、保護者194名、合計707名、第3回オープンキャンパスでは1日で高校生176名、保護者56名、合計232名の参加者がありました。

オープンキャンパス風景

大学報告

2005年度就職支援状況

求人傾向として、年々インターネットでの求人（エントリー）に切り替える企業が増加しています。また企業の雇用形態の変化に伴い、「契約社員」「派遣社員」といった採用が目立ちます。選考時期についても、ここ数年春と秋の二本立てで実施する企業や、春から秋口まで継続的にエントリーを受け付ける企業が増えています。2004年度も選考の早期化、厳しい選択

型求職難の傾向は変わらず、また中途採用で戦力を強化する傾向も同様でした。採用条件は多くのデザイン系の職種では画像ソフト（イラストレーター、フォトショップ等）の基礎をある程度身に付けていることが求人の条件になっていることが多く、また基礎デッサン力も試されるので、しっかりレベルアップしておくことが大切です。

2005年4月には、芸術学部の第一期生を社会に送り出すことができましたが、学生が就職したい人気企業・優良企業には応募者が集中し、かなり厳しい競争倍率になっています。企業は学歴よりも学習暦を重視し、学生生活で何を学び、何を得たかを求めています。少数精鋭・厳選採用が時流ですが、この採用選考に勝ち残るためには、基礎知識・専門知識・専門スキルはもとより、コミュニケーション力・情報処理能力等をしっかり身に付けておくことと、人間的魅力を高めることなどが重要になります。

求人時期が早期化している中、出遅れのないようにしたいものです。

＜平成16年度卒業生就職状況＞

◎短期大学部

	美術学科	専攻科	総計
(1)	297	51	348
(2)	110	35	145
(3)	61	22	83
(4)	55.5	62.9	57.2

◎芸術学部

	造形学科	観光D学科	総計
(1)	105	47	152
(2)	54	28	82
(3)	44	25	69
(4)	81.5	89.3	84.1

(平成17年5月31日現在)

表の見方

(1)卒業者数
(2)就職志望者数
(3)就職決定者数
(4)決定率）〔(3)/(2)〕％

大学報告

ボルネオ島エコツアー 実施

9月5日（月）から9月11日（日）の7日間、「総合演習（海外研修）」を実施しました。21名が参加した今回の研修は、ボルネオ島（マレーシア・サバ州）にあるピリット村にホームステイをし、ジャングルトレッキングや植林体験などを通じて、“資源の持続が可能な観光”であるエコツーリズムなどについて学習しました。

ボルネオ島エコツアーの様子

大学報告

受託研究報告

富山県にある井波別院瑞泉寺山門楼上の天井絵の復原模写が完成しました。この復原模写は、芸術文化研究所が2005年3月に同寺より依頼を受け、本学古画研究工房（箱崎睦昌教授指導）で受託研究として取り組んだものです。10月8日～10日の3日間同寺で開催される大法要で一般公開されました。これに先がけ10月1日には本学で学内、報道機関向けに公開しました。

復原模写の様子

5



オープンキャンパス風景

＜平成16年度卒業生就職状況＞

◎短期大学部			
／	美術学科	専攻科	総計
(1)	297	51	348
(2)	110	35	145
(3)	61	22	83
(4)	55.5	62.9	57.2

◎芸術学部			
／	造形学科	観光D学科	総計
(1)	105	47	152
(2)	54	28	82
(3)	44	25	69
(4)	81.5	89.3	84.1

(平成17年5月31日現在)

表の見方	(1)卒業者数 (2)就職志望者数 (3)就職決定者数 (4)決定率〕〔(3)/(2)〕％
------	--

教員の活躍

愛宕古道街道灯し

愛宕古道街道灯しは、今年で本学が参加して9回目を迎える行事です。今年は8月23・24日の二日間行われました。今回も本学短期大学部美術学科（インテリアデザイン）の柴田潤教授を中心に、365本の竹製行灯（あんどん）が道に配置されました。また、広報としてポスター・はがき・手ぬぐい・Tシャツが制作されました。

鳥居本町の提案で始まった愛宕古道街道灯しは、瀬戸内寂庵さんを始めとした町内の人達の想いが実った催しです。本学と嵯峨中学校、北嵯峨高校、桂川園の協力で作られた365本の大小の行灯は、竹を切り、竹を割り、和紙を張り、すべてが手造りであり、本祭りで大変効果のある演出となりました。

卒業生の活躍

毎日新聞に連載

9月の一ヶ月間、毎日新聞朝刊の連載童話「読んであげて」に、本学卒業生で絵本作家のさいとうしのぶさんによる「もういっかいおしゃべりさん」が連載されました。昨年9月の同新聞に連載された「おしゃべりさん」は単行本として発売中です。

青垣日本画展で卒業生が受賞
兵庫県丹波市が主催する「第19回青垣日本画展2005」において、本学卒業生の河本万里子さんの作品「舞（まい）」が、京都新聞社賞を受賞されました。

なお、京都での展覧会の日程は以下の通りです。

<京都展>

会期／平成17年12月7日（水）～12月11日（日）

会場／京都市美術館別館



河本万里子さんの受賞作品「舞（まい）」

学友会の活動

夏祭りを開催

7月15日に学内において、学友会主催の夏祭りが開催されました。

模擬店やフリーマーケット、浴衣の着付け、HIP-HOPと軽音楽部によるライブ等が行われました。また他のクラブからも様々なイベントや出店があり、大いに盛り上がりました。

今年の参加総数は約320人。周辺の住民の皆さんにも参加して頂くことができました。

特別講座報告

前期特別講座

本学の特別講座は、各学科や分野が通常の授業では学習できない知識等の修得を目的に、授業時間外に開催している講座です。ほとんどの講座で一般の聴講者も受け入れています。2005年度前期の講座は、下記の通り芸術領域を中心に作品制作のエピソードやプロジェクトに係わる紹介など、スライド等を交え実施して頂きました。

また、本学観光デザイン学科に関連する講座では、三線の演奏や学生とのフリートークなど、和気藹々と進行することができました。

どの講座も芸大生として貴重な時間になったと思います。

<2005年度前期特別講座実績>

- ・「共有空間履歴」（美術家 小山田徹氏）
- ・「繊維と私」（アーティスト 濱谷明夫氏）
- ・「西表島のエコツーリズム」（元西表島エコツーリズム協会会長 石垣金星氏）
- ・「笑うバリーアーティストから見たパリの現在進行形」（造形美術作家 畔柳実氏）
- ・「国際展を創る」（アーティスト 川俣正氏）



前期特別講座より「国際展を創る」講演風景

附属図書館

「あらし山びこ」ロゴ決定！
かねて募集していました、図書館児童書コーナー「あらし山びこ」のロゴは、以下の3名の作品に決定しました。

- ・三好史子さん（短期大学部美術学科1回生）
- ・柳沢昌平さん（短期大学部専攻科2回生）
- ・吉田和博さん（芸術学部造形学科3回生）



芸術文化研究所

小学生夏休み講座

夏休み恒例企画「小学生夏休み講座」を、8月5日（金）～7日（日）に開講しました。参加総数は約60名。今年は「動く造形」をテーマに、1・2年生は「モビールを作ろう」、3・4年生は「風車を作ろう」、5・6年生は「フライングバードを作ろう」の内容で、日用品や廃品を使った立体工作の面白さを体験しました。



小学生夏休み講座 制作風景

附属図書館の活動

児童書コーナー「あらし山びこ」を立ち上げ半年

児童書コーナー「あらし山びこ」に集う全ての人々が、「共に学び、共に育つ」を柱に据え、近隣で本の読み語り等の活動をしている人たちにボランティアでのお手伝いをお願いして、毎月第二土曜日に本の読み語り等の活動を続けています。回を重ねるごとに好評で、毎回楽しみにして参加してくれる子どもたちも増えています。

9月のテーマは『おじいさんおばあさん』。ボランティアの数も少しずつ増えていて、今回は実際に、おじいさんおばあさんに絵本を読んでもらい、子どもたちは

大喜び。休憩時間には折り紙をやり大好評。折り紙に初めて触れる子どももあり、改めて日本の文化を伝承させていくことも大切なことと実感しています。



児童書コーナー「あらし山びこ」風景

附属博物館

前期企画展

平成13年11月に開館した博物館は、ギャラリーと共にあらゆる企画展を開催してきましたが、今回初めて本学収蔵品の中から、短期大学部（当時は嵯峨美術短期大学）の開学に尽力された二人の先生が寄贈された貴重な資料や作品を、「第1回収蔵品展」として開催しました。

<博物館>

佐和隆研氏とオリッサの美（4月1日～6月30日）

<ギャラリー>

川端弥之助氏の世界（4月1日～5月6日）

博物館では、本学の第二代学長で仏教美術学者でもあった佐和隆研先生がインドオリッサ地方の研究資料を、またギャラリーでは開

学当初、西洋画の主任教授として学生に実技指導をされました川端弥之助先生の裸婦や風景画を展示しました。4月1日から5月6日の開催期間中、本学学生を始め一般の方々2,000名の多数の来館者があり盛況に終えました。

大学よりご報告

新潟県中越大地震への義援金について

本学では、昨年12月の附属ギャラリーでの「第3回マイカメラ・マイスタイル・マイフォト展」開催に合わせて、同年10月に発生した新潟県中越沖地震への義援金募集を行いました。

その際に集まった義援金は総額19,208円。この展覧会で得た義援金は、今年9月に日本赤十字社を通じて新潟県に送られました。

義援金募集にご協力頂きました方々に、厚く御礼申し上げます。